

『研究室からのメッセージ』

当研究所の前身である東京市政調査会が設立されたのは 1922 年のことです。時代に合わせてその役割や立場を少しずつ変えながらも、今年で創立 103 年を迎えることができました。そして私たちは今、「次の 100 年」に向けた歩みを始めているところです。

当研究所の研究員には、ご自身の《専門》にしたがった「個別研究」をすすめていただくことはもちろんですが、研究員全員でチームとなって一つのテーマに取り組む「自主共同調査」や、研究員がアドホックにチームを作り自発的に取り組む「特定課題調査」、さらには、機関誌『都市問題』の特集の企画、同じく『都市問題』に掲載される書評の執筆、公開シンポジウムの企画など、様々な業務を担っていただきます。それらの業務においては、《専門》の殻を破る積極性が必要です。

そこで私たちは、《専門》という「砦」に立て籠もるのではなく、地方自治、地域自治、地域社会をめぐる森羅万象に興味を持ち、現場に足を運ぶことを楽しみ、あらゆる知識を貪欲に身につけ、チームに貢献してくださる方を、そして、それをご自身の「幅」を広げる好機であるととらえていただける方を強く求めます。

なお、任期付きの契約ではありますが、「チームづくり」の観点から、長く勤めていただくことを期待しています。したがって、採用後、それにふさわしいと思われる方については無期雇用への転換を積極的に検討し、その見通しをできるだけ見えやすくするよう努めます。

どうか私たちとともに、この研究所の「歴史」を作ってください。ご応募お待ちしております。